

会社の業績は社員の健康状態で9割決まる

従業員の健康が企業経営に大きな影響を及ぼします。健康経営の推奨を図るとともに健康経営に取り組む会員企業をご紹介します。このコーナーです。

(お問い合わせ先)
浜松商工会議所 商業観光課
TEL 053-452-1114

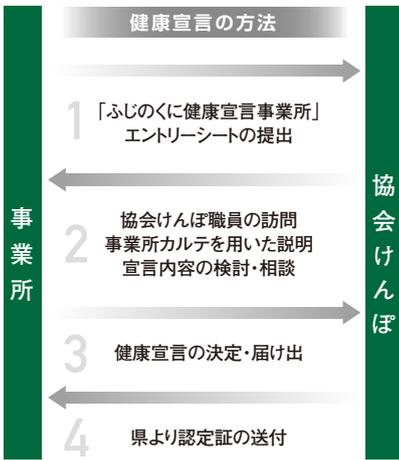
Q 健康経営ってなんですか？

A 重要な経営資源である従業員を活性化し経営効率を上げることです。

「健康経営」とは、社員の健康を重要な経営資源と捉え、健康増進に積極的に取り組む企業経営スタイルのことです。これまで健康管理に関しては、自分自身で食生活・運動習慣・休養などに気を配るべきものとされてきましたが、生活習慣病の増加・従業員高齢化やメンタルヘルスの問題への対応のため、企業が社員とコミュニケーションを密にして、健康づくりに取り組む必要性が高まっています。

Q 健康宣言ってなんですか？

A 「健康経営」を始めるきっかけとするため、貴社の取り組みを宣言することです。



社員の健康増進による企業のメリット

生産性向上	負担軽減	イメージアップ	リスクマネジメント
<ul style="list-style-type: none"> ●モチベーションの向上 ●欠勤率の低下 ●業務効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●疾病予防による疾病手当の支払い減少 ●健康保険料負担の長期的な抑制 	<ul style="list-style-type: none"> ●企業ブランド価値の向上 ●社内の・対外的イメージの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●事故・不祥事の予防 ●労災発生の予防

我が社の健康宣言

季節・時期に合った感染症予防に努める



望実有料老人ホームのロビーにて。代表の鈴木重伸さん(右)と、主任介護支援専門員で看護師の専務・芦田露子さん(左)。利用者や介護スタッフへ向けられる芦田さんの適切な配慮は、長年の看護経験により培われたもの。医療的な相談にも適切に対応する。職員の体調管理のため、夕方になると時折、血糖値を測るのは老人介護施設ならではの取り組み

file 2
健康宣言事業所

株式会社 望実 (のぞみ)

浜松市東区丸塚町

□企業概要

2002年に設立し、現在は住宅型有料老人ホーム、居宅介護支援事業所「のぞみケアプランセンター」、「さくら」「のぞみ」「あゆみ」の3カ所のデイサービスセンター、計5カ所の施設を運営。科学的看護を基礎とし、個人の持つ自立性を最大限に生かす支援を実践している。従業員数37人。

職員が健康でなければ
利用者の健康は担えない

介護の現場において、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症は、入居者の命に関わる重大な問題です。そこで「望実有料老人ホーム」では、感染症についての勉強会を、職員はもちろん、入居者家族も参加できる形で通年おこなっています。「感染症とは何か」から、及ぼされる影響、予防法を実践プログラムを組んで学習。毎回約30分から45分、手作りのレジュメに沿って進めます。

その中心人物が主任ケアマネージャーの芦田さん。50年に及ぶ看護師としてのキャリアを基に、厳しくも的確な配慮で、入居者のみならず職員に対してもケアを怠りません。強いストレスを伴う介護の仕事では、メンタルヘルスを保つことがとても重要。芦田さんは職員の表情や仕草から心身の状態を読み取り、セルフコントロールを促します。その洞察力に救われる職員の方も多いようです。